

令和 2 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 1 年度)

区分	ソフト
----	-----

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実			

事業名		社会教育委員事業										
担当課		生涯学習課										
目的	誰を・何を(対象)	社会教育事業全般										
	どのようにしたいか(意図)	社会教育に関する諸計画の立案や、生涯学習・社会教育の振興方策等について社会教育委員からいただいた意見を参考にして、より良い事業の運営が行えます。										
事業費(千円)		2018 年度決算額			2019 年度決算額 対前年比(%)			2020 年度予算額 対前年比(%)				
		260			188 72%			393 209%				
財源内訳	国・県支出金				0			0				
	受益者負担				0			0				
	その他特定財源				0			0				
	一般財源	260			188 72%			393 209%				
評価指標		2017			2018			2019			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標 ①		—										
				0			0			0		
指標 ②		—										
				0			0			0		
主な事業内容		社会教育委員会及び関連する研修会等										
事業実績		社会教育委員会 2回(第3回は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 愛知県社会教育委員連絡協議会総会 愛知県社会教育委員連絡協議会評議員会・総会 愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部総会・講演会・研修会 知多地区人権教育指導者研修会 人権教育指導者研修会(中央研修会)										
課題		社会教育委員に係る会議が主な事業であり、社会教育の具体的施策は別事業で行っています。 会議の在り方をよりよくしていくことが課題です。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A
			○				○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					現時点で特に問題はないと考えていますが、今後、委員の意見をいただきながら会議をよりよくしていきます。						
	現状維持				○							
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実			

事業名		社会教育一般管理事業										
担当課		生涯学習課										
目的	誰を・何を(対象)	住民・利用者										
	どのようにしたいか(意図)	生涯学習教室などで学ぶことにより、学習成果を活用したサークル活動等住民の自主的な活動が活発になります。また、住民自ら教室・講座の企画と運営を行うことにより、学習成果や技能を発揮することができます。										
事業費(千円)		2018 年度決算額			2019 年度決算額 対前年比(%)			2020 年度予算額 対前年比(%)				
		3,743			3,719 99%			4,115 111%				
財源内訳	国・県支出金				0			0				
	受益者負担				0			0				
	その他特定財源				0			0				
	一般財源	3,743			3,719 99%			4,115 111%				
評価指標		2017			2018			2019			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標 ①		高齢者教室会場定員数に対する参加率									団体	
		65	80	81%	56	80	70%	55	80	69%		
指標 ②		生涯学習あんない掲載団体数(サークル編)※体育・スポーツ及び福祉関係除く									%	
		162	196	83%	152	196	78%	132	196	67%		
主な事業内容		1 高齢者教室委託事業 2 生涯学習あんない発行 3 家庭教育事業 4 親子ふれあい事業										
事業実績		1 高齢者教室委託事業 各地区全5回開催 ※老人クラブの自主企画による高齢者向け講座 (参加者)森岡 357名、緒川 553名、卯ノ里 486名、石浜 256名、生路 270名、藤江 316名 2 生涯学習あんない 講座・イベント編(年2回)、サークル編(年1回) 3 家庭教育講座 親業訓練入門講座 全4回 4名 4 親子ふれあい事業 北中フェスタ、サマーフェスタ、モリモリフェスタ、親子ふれあいツアー 委託料7万円										
課題		1 高齢者教室は参加者数が減少しています。 2 生涯学習あんないの登録団体数が年々減少しています。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性		A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討		
		○			○					○	B	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充			○	1 高齢者教室は以前に比べ、講座の内容はよくなってきていますが、参加者のメインである、老人クラブ連合会の会員が減少してきているため、それに伴って参加者が減少してきています。非会員への周知を行い、参加者の増加を図ります。							
	現状維持				2 生涯学習あんないは、講座実施後サークルを組織し継続してもらうことで、生涯学習団体の増加が見込めます。魅力的な講座企画や運営を行い、参加者を増やし、定期的な活動を行えるように促していきます。							
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり					項	2 生涯学習			掲載	58	頁		
	施策	1 生涯学習					取組	3 青少年育成の環境づくり							
事業名		青少年教育事業													
担当課		生涯学習課													
目的	誰を・何を(対象)	青少年(0歳～39歳)													
	どのようにしたいか(意図)	青少年自らが企画、運営に参加する機会を通して、考え行動する能力を養い、町や地域で活躍できる人材が育まれます。													
事業費(千円)		2018 年度決算額			2019 年度決算額 対前年比(%)			2020 年度予算額 対前年比(%)							
		2,274			2,000 88%			2,200 110%							
財源内訳	国・県支出金				0						0				
	受益者負担				0			150			0				
	その他特定財源				0						0				
	一般財源	2,274			2,000 88%			2,050			103%				
評価指標		2017			2018			2019			単位				
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率					
指標①		ミュージックフェスティバル参加者数									人				
		350	350	100%	350	350	100%	350	350	100%					
指標②		成人式への出席率									%				
		88.3	100	88%	84.8	100	85%	80.8	100	81%					
主な事業内容		1 ミュージックフェスティバル委託事業の実施 対象 音楽愛好家(実行委員会は青少年を中心に運営) 内容 音楽イベントの企画及び運営全般 2 成人式委託事業 実行委員 町内3中学校の卒業生から各6名選出 内容 式の企画及び運営全般 3 ジュニアリーダー事業の実施 対象 小学4年～高校3年 回数 11回(5月～3月の月1回) 定員 35名													
事業実績		1 ミュージックフェスティバル事業:出演者10組 来場者数:350名(イオンモール東浦にてプレイベント実施) 2 成人式事業:実行委員会8回(当日及び反省会含む) 出席者:509名 3 ジュニアリーダー事業:35名参加(小学4年16名、小学5年9名、小学6年10名) 主な活動:まちの探索、野外活動、コミュニティまつり出店、ニューススポーツ講習													
課題		1 長年の課題であった、実行委員の高年齢化については、新たに2名の実行委員を迎えることができ改善されましたが、運営スタッフについても今以上に青少年の協力が必要です。 2 実行委員会への出席率も悪く、実行委員の自発的な行動もあまり見られないため、実行委員自ら考え行動する組織づくりが必要です。 3 令和元年度をもって廃止となるため、小中学生を対象としたリーダー育成の場を新たに提供する必要があります。													
評価視点								総合評価							
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
			○			○					○	B			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い				
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等									
成果の方向性	拡充					1 高校生の参加を働きかけ青少年の運営スタッフの増員を行っていきます。									
	現状維持			○		2 実行委員の選出を中学校と協力しよりよくしていきます。また、実行委員会では、委員主体で動かせるように会の運営を考えます。									
	縮小					3 今後は、リーダー育成を模擬職業体験である「こどものまち」で実現できるようにします。ただ、地域との連携の要素がないため、コミュニティまつりなどにより関わりを持つ場を作っていきます。									
	休廃止														
		皆減	縮小	現状維持	拡大										
		コスト投入の方向性													

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	3 文化・芸術活動の推進			

事業名		文化芸術活動推進事業										
担当課		生涯学習課										
目的	誰を・何を(対象)	住民・利用者										
	どのようにしたいか(意図)	生活の中の潤いや安らぎ、創造の喜びのため、文化活動や芸術鑑賞ができ、学習の成果を発表するなどして、住民等が文化の創造と発展の主体となっています。										
事業費(千円)		2018 年度決算額			2019 年度決算額 対前年比(%)			2020 年度予算額 対前年比(%)				
		2,216			2,306 104%			2,006 87%				
財源内訳	国・県支出金				0			0				
	受益者負担	384			380 99%			392 103%				
	その他特定財源	300			300 100%			0%				
	一般財源	1,532			1,626 106%			1,614 99%				
評価指標		2017			2018			2019			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		文化協会の会員数									人	
		530	530	100%	489	530	92%	443	530	84%		
指標②		うの花音楽祭の来場者数									人	
		390	350	111%	350	350	100%	310	350	89%		
主な事業内容		1 文化協会補助金 2 うの花音楽祭委託事業の実施 実行委員 東浦町コーラス連盟 内容 合唱祭(音楽祭)の企画及び運営 3 落語を楽しむ会委託事業の実施 実行委員 落語を楽しむ会実行委員会 内容 落語家として活躍する地元出身者(半田市・東浦町)による寄席の企画及び運営										
事業実績		1 文化協会補助金 会員数:565名 補助金:1,686千円(指定寄附金300千円含む) 2 うの花音楽祭 実施日:令和元年12月1日(日) 来場者:310名(うち出演者114名) 委託料:180千円 3 落語を楽しむ会 実施日:令和元年12月22日(日) 来場者:244名 委託料:335千円										
課題		1 文化協会の会員の高齢化が進み、会員数が減少傾向にあります。文化・芸術活動を担う若者の参加促進や、文化芸術活動を行う団体の自立的な活動運営の支援が必要です。 2 出演者が固定化しているため、一般団体の募集をしています、町外団体などの参加には至っていません。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A
			○				○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					1 文化協会が行う文化展などの活動を通し、幅広い年齢層を対象とした参加型の展示等を行い、文化・芸術へ触れる機会をつくっていきます。 2 一般団体の募集を行う際に、広報及びHPのほか、FacebookやTwitter等の町SNSに加え、ポスターを作成する等周知方法の検討を行います。 3 毎年200名を超える参加があり楽しみにしている方も大勢いるため、今後も継続して開催していきます。						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 2 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 1 年度)

区分 ソフト

総合 計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実			

事業名		文化センター事業										
担当課		生涯学習課										
目的	誰を・何を(対象)	住民・利用者										
	どのようにしたいか(意図)	住民のニーズに応じた学習機会、幅広い分野や専門性の高い内容の教室・講座が開催され、学習成果を活用したサークル活動等が盛んになります。また、住民自身が企画や立案、運営を行うマイプロデュース講座を行っています。										
事業費(千円)		2018 年度決算額			2019 年度決算額 対前年比(%)			2020 年度予算額 対前年比(%)				
		3,562			3,244 91%			5,976 184%				
財源内訳	国・県支出金				0			0				
	受益者負担	555			396 71%			872 220%				
	その他特定財源				0			0				
	一般財源	3,007			2,848 95%			5,104 179%				
評価指標		2017			2018			2019			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標 ①		新規教室・講座参加者率									%	
		49.1	75.0	65%	75.3	75.0	100%	76.8	75.0	102%		
指標 ②		定員に対する受講者率									%	
		62.4	75.0	83%	73.0	75.0	97%	74.7	75.0	100%		
主な事業内容		子ども向け、託児付、青少年、料理、その他一般(団塊世代、男性向け等)講座 マイスタディー講座(学びたい人が自ら企画・運営) マイプロデュース講座(教えたい人が自ら企画・運営)										
事業実績		【令和元年度】 講座数 41講座 開催回数 102回 受講者数 692人 定員に対する受講者割合 75% うちマイプロデュース講座 講座数 5講座 開催回数 14回 受講者数 37人 定員に対する受講者割合 84% マイスタディ講座 申し込みなし										
課題		子ども向けの講座は人気がありますが、大人向けの講座では定員の半分に満たず、開催できない講座もありました。住民のみなさんのニーズを把握し、地域・世代間の連携・交流を促す講座など、興味を持ってもらえる講座の計画が必要です。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				A
			○				○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					講座終了時、受講者にアンケートを行い、ニーズの把握をして新規講座の開設や既存講座の改善に繋げているため、今後も継続していきます。また、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民のみなさんに興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実			

事業名		地区コミュニティセンター等事業									
担当課		生涯学習課									
目的	誰を・何を(対象)	住民・利用者									
	どのようにしたいか(意図)	地区の文化活動の拠点として、住民のみなさんのニーズに応じた各種教室・講座を開催され、誰もが生涯にわたって自由に学び、成果を活かすことができます。									
事業費(千円)		2018 年度決算額			2019 年度決算額 対前年比(%)			2020 年度予算額 対前年比(%)			
		556			500 90%			548 110%			
財源内訳	国・県支出金				0			0			
	受益者負担	334			270 81%			375 139%			
	その他特定財源				0			0			
	一般財源	222			230 104%			173 75%			
評価指標		2017			2018			2019			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標 ①		新規教室・講座参加者率									%
		82.6	75.0	110%	81.8	75.0	109%	77.3	75.0	103%	
指標 ②		定員に対する受講者率									%
		87.0	75.0	116%	83.7	75.0	112%	75.2	75.0	100%	
主な事業内容		子ども向け、料理、運動、その他一般(団塊世代、男性向け等)講座									
事業実績		【令和元年度】 講座数 18講座 開催回数 63回 受講者数 234人 定員に対する受講者割合 75%									
		森岡コミュニティセンター	講座数 1講座	開催回数 5回	受講者数 29人	定員に対する受講者	97%				
		緒川コミュニティセンター	講座数 3講座	開催回数 11回	受講者数 31人	定員に対する受講者	79%				
		卯ノ里コミュニティセンター	講座数 3講座	開催回数 15回	受講者数 23人	定員に対する受講者	59%				
		石浜コミュニティセンター	講座数 3講座	開催回数 11回	受講者数 31人	定員に対する受講者	72%				
		生路コミュニティセンター	講座数 3講座	開催回数 7回	受講者数 38人	定員に対する受講者	79%				
		藤江公民館	講座数 5講座	開催回数 14回	受講者数 82人	定員に対する受講者	73%				
課題		定員に対する受講者の割合はおおよそ8割の実績率となっています。ただし、地区によっては、受講希望者が開講人数ぎりぎりのものも見受けられるため、開催時期や内容の見直しを検討する必要があります。									
評価視点										総合評価	
必要性				有効性				効率性			
			○				○				○
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充					各地区でのマイスタディー・マイプロデュース講座を推奨し、地域による地域のための講座を開催していきます。また、地区のニーズを把握して新規講座の開設や既存講座の改善に繋げ、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民のみなさんに興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大						
		コスト投入の方向性									